

令和7年度 授業改善推進プラン全体計画

小平市立小平第十四小学校

〈関係法令等〉
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領
 東京都教育目標・小平市教育目標

〈学校教育目標〉
 ◎たくましい子
 強靱な意思と実践力を持ち、心身共に健康でたくましく生きる子ども
 ○考える子
 自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に問題を解決しようとする子ども
 ○やさしい子
 自然を愛し、他人を思いやる豊かな心をもつ子ども
 ○おこなう子
 勤労・奉仕の精神を尊び、自主的・自発的にすすんで行動する力をもつ子ども

〈目指す学校像〉
 1 生きる力を育む人間の健全なる成長を促す場
 2 基礎・基本を身に付ける場
 3 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を行う場

〈各教科等の授業改善の視点〉

【国語】
 ・「書く」ことの活動の継続
 ・学校図書館の活用
 ・ことばの時間の充実
 ・漢字や言語の特質の理解
 ・読書の推進

【社会】
 ・資料の読み取り(解釈・説明)の習熟
 ・表現の仕方の習熟
 ・用語を適切に活用した意見の交流
 ・地図帳、年表等の活用の推進

【算数】
 ・問題解決的な学習の充実
 ・四則計算の習熟
 ・習熟度別指導の徹底
 ・個別支援の充実
 ・ノートの取り方や発表の方法の統一

【理科】
 ・問題解決的な学習の充実
 ・事物・現象の確認の徹底
 ・比較・関係付け・条件制御・推論の資質向上
 ・考察する力の向上
 ・観察・実験(器具の扱い)の習熟

【生活科】
 ・地域参画型授業の充実
 ・学び・遊びの交流や発信

【音楽】
 ・表現活動の工夫
 ・鑑賞活動の充実

【図画工作】
 ・様々な素材や表現方法の体験の充実
 ・鑑賞活動の充実

【家庭科】
 ・よりよい生活のための実践(生活の見直し・気付き)

【体育】
 ・帯活動による体力向上
 ・昨年の体力テストの結果に基づく重点的な指導(投てき、持久力、俊敏性)の実施

【道徳】
 ・話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫
 ・道徳で育んだ心情・判断力・態度を日常生活で活かすこと
 ・生命の尊さを知り、自他の生命を大切に
 する道徳的判断力・心情・態度・実践意欲を育む。
 ・資料の精選(多彩な間接体験)

【総合的な学習の時間】
 ・探究的な学習の推進
 ・地域貢献型学習の充実

【外国語科・外国語活動】
 ・学習展開のスタンダード化
 ・小・中連携教育の強化

【特別活動】
 ・学年(学級)文化の創造
 ・きょうだい学級の関わり
 ・学級会(1)による自主的、実践的な活動

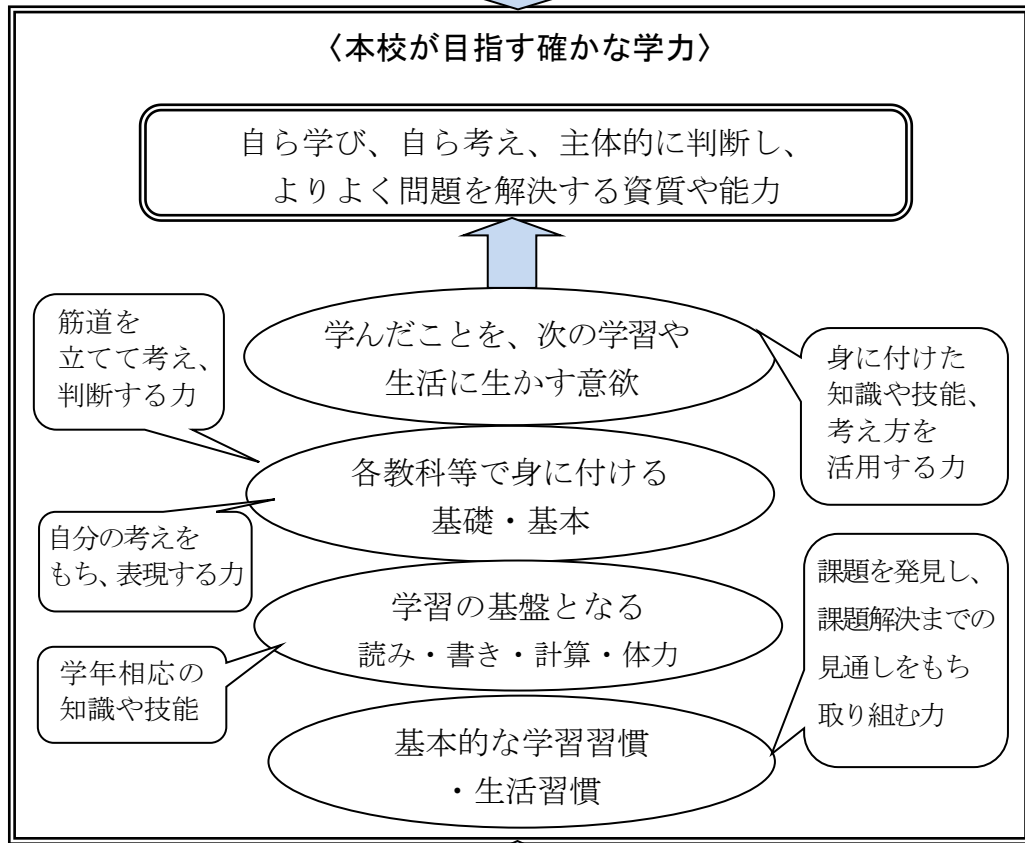
〈学力向上にかかわる学校経営方針〉

授業力の向上

①主体的・対話的で深い学びの実現
 ★学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善
 ★校内研究の充実(学級会(1)…)自分の考えをすすんで表現し、より良い人間関係や生活をつくる児童の育成
 ★道徳、外国語(活動)、プログラミング教育の充実
 ★教員自身の授業力向上

②基礎学力の定着
 ★授業規律の徹底
 ★めあてと振り返り どの子にも分かる授業「分からない0」
 ★「こだいらこれだけは」の徹底
 ★外国語(活動)の学習を通じた異文化理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成
 ★読書月間を設定、金曜日の朝読書、読書カレンダー、おすすめの本カードなどによる読書活動の推進

③体力の向上・運動への関心・意欲の向上
 ★準備運動・集団行動等の指導方法の改善
 ★体育的行事の取組方法の改善
 ★「十四小トライアル」等、体育的活動の充実
 ★「楽しみながら運動プログラム」の活用



〈授業改善推進のPDCAサイクル〉

【1学期】
 ・児童の学力実態把握
 ・休み時間・人間関係調査
 ・自己申告書作成
 ・ふれあい月間いじめ調査
 ・授業改善推進プラン作成
 ・校内研究
 ・学校公開アンケート
 ・児童アンケート

↑ Plan ↓

【2学期】
 ・校内授業研究
 ・自己申告書 中間報告
 ・学校評価アンケート
 ・児童アンケート
 ・保護者アンケート
 ・ふれあい月間いじめ調査

↓ Do ↓

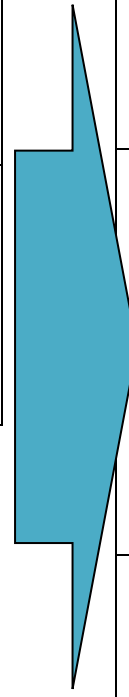
【3学期】
 ・自己申告書 最終報告
 ・校内授業研究
 ・ふれあい月間いじめ調査
 ・次年度引き継ぎ(仮案の作成)

↑ Check ↓

↑ Action ↓

〈授業改善振り返りの視点・児童の実態〉	学校経営目標(短期)			
	学力向上			健全育成
	主体的・対話的で深い学びの実現	基礎学力の定着	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進
	<ul style="list-style-type: none"> 児童が意欲的に取り組むための導入の工夫をする。 ICT 機器の活用やノート指導など、自分の考えを表現させる指導を工夫する。 ペアでの対話や全体交流、ICT 機器の活用を通して、互いの課題解決を意識した学習を行う。 問題解決的な学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底をする。 明確なめあての提示をする。 補習や家庭学習等による学び残しや、つまずきの解消をする。 教科指導と関連付けた図書館資料の活用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動量を十分に確保した授業をする。 めあてを意識して運動に取り組みさせる。 めあてに応じた振り返りをする。 体育的行事の取組方法の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりする。 あいさつ運動など自発的な活動を続ける。 いじめを許さない意識をもち、行動を見直す。 授業の中で体験を通して、学ぶ時間を重視する。

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標 (短期)	学力向上	主體的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、絵や図、式、言葉など、様々な方法で表現する力の育成。 情報を受け取り、活用する力の育成。
	学力向上	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 初見の文章でも、スムーズに読むことができる力の育成。 自分が考えたことを表現する力の育成。
	学力向上	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動遊びの楽しさに触れる場の設定。 めあてに向けて工夫する力の育成。
健全育成	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲よくしたいという気持ちをもっている。 △集団生活や遊びの中で、ルールを守り、自主的な活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の欲求と集団生活との折り合いを付ける力の育成。 その場に応じた適切な言葉遣いや行動の育成。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	1 語彙力を高める活動の充実 2 書くことの充実 3 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 言葉集めなどの活動を行い、語彙を増やす。 文章の視写をする時間を定期的に設け、拗音や促音の書き方を習得する。 ノートや日記指導を行い、自分の考えを表現できるようにする。 読み聞かせや読書指導と並行して、週に一回程度、学校図書館を活用する。 	
算数	1 数や図形の概念の定着。計算の習熟。 2 個別支援の充実 3 ノートの取り方や発表の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 具体物、半具体物や計算カード等を使った計算練習を継続的に行う。 学習補助員と連携し、個に応じた支援を充実させる。 「まず」「次に」「だから」等、具体的な話型を示し、思考に筋道を付けることに慣れさせる。 ロイロノートのカード機能を活用し、思考の可視化を図る。 	
生活	1 地域参画型授業の充実 2 学び・遊びの交流や発信	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の大人など、身近な大人から話を聞く機会を設ける。 気付きと活動を繰り返し、協働的な学びの場を意図的、計画的に設定する。 	
音楽	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> まねっこ遊びやリレーなどで楽しみながら歌ったり、演奏したりする活動を多く設定し、表現することに慣れ親しむ。 曲に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子をしたりして楽しみながら曲想を感じ取る。 	
図工	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 様々な表現方法や素材に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高めるようにする。 作品を鑑賞し合うことで、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かすことができるようにする。 	
体育	1 運動遊びの楽しさに触れる 2 帯活動による体力向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動遊びに親しみ、個に応じためあてを達成させるために、ルールや場の設定を工夫する。 単元を通して必要な感覚作りの運動に取り組む。 	
道徳	1 授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループ、学級など、交流の場を設定する。 児童の多様な考えを引き出す発問を精選する。 学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。 教材や交流を通して、自己を見つめる場を設定する。 	
学級活動	1 実践につながる話し合い活動の充実 2 きょうだい学級等の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 学級会では、司会グループの輪番制、折り合いを付ける集団決定など、自主的、実践的な話し合いを経験させる。 意図的に異学年交流の機会を設定する。 	

令和7年度 授業改善推進プラン【2年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標（短期）	学力向上	主體的・対話的で深い学びの実現	○自分の考えをもつことができる。 △自分の考えをすすんで表現することをためらうことがある。 ・自分の考えを表現する場の設定。
	学力向上	基礎学力の定着	○学習課題に、意欲的に取り組んでいる。 △学習の定着に個人差がある。 ・意図的な読み書きの場の設定。 ・個に応じた支援の充実。
	健全育成	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○積極的に体を動かしている。 △運動の領域により、関心・意欲に個人差がある。 ・めあてに向けて工夫する力の育成。 ・各種の運動遊びの楽しさに触れる場の設定。
	健全育成	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	○年間を通して計画的に地域の自然や学校の生き物に触れている。 ○きょうだい班やなかよし班の活動を定期的に行っている。 △あいさつ運動などを通して自発的な活動を行う必要がある。 ・相手の気持ちを推し量る力の育成。 ・自らすすんで、挨拶する心情の育成。

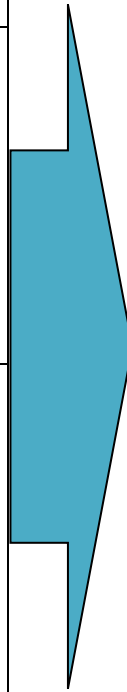


教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	1 「書く」「読む」活動の継続 2 読書活動の充実 3 漢字や言語の特質の理解	・初発の感想や、読み取り後の手紙など、書く活動を通して、 <u>自分の考えを表現する活動</u> を取り入れる。 ・担任や図書館司書の読み聞かせを行い、本に慣れ親しむ。 ・ <u>図書館資料を活用し</u> 、季節の言葉や様子を表す言葉を調べる活動を行い、語彙力の向上を図る。 ・ <u>漢字の成り立ち調べや、熟語探し</u> を通して、語彙力を高め、日常生活で活用する活動を推進する。	
算数	1 問題解決的な学習の充実 2 四則計算の習熟	・ <u>前時の学習との相違点を見付けさせ</u> 、既習事項を活用し、問題解決させる。 ・単元の学習の時間だけでなく、年間を通して、家庭学習や習熟の時間を設定する。	
生活	1 地域参画型授業の充実 2 学びの共有、発信	・ <u>学童農園と連携した活動</u> を計画的に取り入れる。 ・学習の <u>気付きについて交流</u> する。新たな疑問などを共有し、学習計画を立てさせる。	
音楽	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・ <u>まねっこ遊びやリレー</u> などで楽しみながら歌ったり、演奏したりする活動を多く設定し、表現することに慣れ親しむ。 ・ <u>曲に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子</u> をしたりして楽しみながら曲想を感じ取る。	
図工	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・ <u>様々な表現方法や素材に触れ合うこと</u> で、児童の意欲や発想を高める。 ・ <u>作品を鑑賞し合うこと</u> で、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かすことができるようにする。	
体育	1 運動遊びの楽しさに触れる 2 帯活動による体力向上	・ <u>各種の運動遊びの楽しさに触れ</u> 、運動が苦手な児童も楽しめるようなルールや場の設定をする。 ・ <u>単元を通して必要な感覚づくりの運動</u> に取り組む。	
道徳	1 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・ <u>ペアでの話し合いの場や全体での発表の場</u> を通して互いの考えを広めたり、深めたりする活動を増やす。 ・ <u>学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業</u> を行う。	
学級活動	1 学級・学年文化の創造 2 きょうだい学級の関わり	・ <u>クラス遊びなどを通して学級文化を創り</u> 、継続して取り組む。また、学年の活動を定期的に取り入れる。 ・ <u>きょうだい学級に、お礼の手紙を書く</u> など、計画的に交流する。	

令和7年度 授業改善推進プラン【3年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標（短期）	学力向上	<p>主体的・対話的で深い学びの実現</p> <p>基礎学力の定着</p> <p>体力の向上 運動への関心・意欲の向上</p>	<p>教師による検索の方法の提示やこどもにとって分かりやすいインターネットサイトの活用。</p> <p>個別的に自分の考えを具体的に表現する力の向上。</p> <p>五感を使った観察の視点や比較・感想などの視点の活用。</p> <p>計画的な朝学習の推進。（特に九九、漢字、繰り下がり引き算、ローマ字入力等）</p> <p>動きのポイントが提示されている学習カードや動画サイトの活用。</p> <p>様々な運動を経験させる中で、簡単なオリジナルルールを作ったり、新しい遊びを考えたりする機会の意図的な設定。</p>
	健全育成	<p>道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進</p>	<p>自らすすんで、様々な人に挨拶する姿勢の育成。</p> <p>相手の気持ちを推しはかる力の育成。</p> <p>自己の欲求と集団生活との折り合いを付ける力の育成。</p>
		<p>○国語辞典や学習者用端末を活用して、自分の興味・関心のあることを調べている。</p> <p>△自分の考えをノートや学習者用端末に具体的に書く力を向上させる必要がある。</p> <p>○観察の視点を明確にし、細かい部分まで観察することができる。</p> <p>△2年生の既習事項について、十分に定着させる必要がある。</p> <p>△家庭学習や復習を確実に繰り返し行い、基礎学力を向上させる必要がある。</p> <p>○個々のできるようになりたいと思う気持ちは高く、アドバイスを求めたり、動き方のポイントを調べたりする児童が多い。</p> <p>△運動について消極的な児童がおり、誰でも意欲的に参加できる工夫が必要である。</p> <p>○挨拶に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○正しい善悪の判断のもとに、クラスで行動を見直している。</p> <p>○人権意識をもって他者と関わる事ができるようになっている。</p> <p>△3年生としての自主性をもって活動する必要がある。</p>	



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	<ol style="list-style-type: none"> ことばの時間の充実 「書く」活動の継続 学校図書館の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字を用いた熟語を調べるなど、国語辞典や学習者用端末を日常的に活用させ、語彙力の向上を図る。 初発の感想や学習の振り返りなど、書く活動を継続するとともに、自分の考えをもつことができるようにする。 図書資料を活用して適切な資料を選び取り、課題解決する力を身に付けさせる。 	
社会	<ol style="list-style-type: none"> 資料の読み取り（解釈・説明）の習熟 用語を適切に活用した意見の交流 表現の仕方の習熟 	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフ、写真、文章等、様々な資料に触れさせ、必要な情報を集める力を養う。 意見交換や情報交換の仕方に習熟するよう、ペアやグループでの話し合いの場を多く設ける。「ロイロノート」内「共有ノート」を活用し、学びを共有する機会を意図的に設定する。 ポスターや学習者用端末を活用し、表現の仕方に親しませる。 	
算数	<ol style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の充実 論理的思考力の向上 個別支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習との相違点を見付けさせ、既習事項を活用し、問題解決させる。 「まず」、「次に」、「だから（したがって）」等、具体的な話型を示し、論理的に説明させる。 個別に補助教材や学習者用端末を使用し、個々のレベルに合った計算練習を行い、個に応じた支援の充実を図る。 「量の単位」、「時間の単位」などの測定・時間の学力向上に向け、家庭学習や授業での学習において個別最適な支援を行う。 	
理科	<ol style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の充実 「比較」の資質向上 事物・現象の確認の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験を基に、疑問点や調べてみたいことを児童から引き出し、問題解決させる。 実験・観察前の予想と実験・観察後の結果を、相違点や共通点に着目させ表現させる。 観察の着眼点や実験の手順をしっかりと把握させてから、学習者用端末を用いて活動させる。 	
音楽	<ol style="list-style-type: none"> 表現活動の工夫 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> リズムや旋律、各声部の特徴を写真や絵、音図形で視覚的に示すことで曲想と音楽の構造との関わりに気付いて表現できるようにする。 曲の速さに合わせて歩く、手で拍を取りながら聴く、曲を聴いて場面の様子を想像する活動を通して音楽の構造に着眼する。 	
図工	<ol style="list-style-type: none"> 様々な表現方法や素材の体験 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な表現方法や身近な素材に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 作品を鑑賞し合うことで、友達の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かす。 	
体育	<ol style="list-style-type: none"> 全員が楽しめる雰囲気づくり 体力テストの結果に基づく、重点的な指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手な児童も意欲的に取り組めるよう、やさしい場や用具を工夫する。互いに励ましの言葉掛けや褒め合える環境づくりを行う。 毎学期、体づくり運動（重点：投力、握力、持久力）による体力向上を図る。 	
道徳	<ol style="list-style-type: none"> 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末「ロイロノート」でワークシートを活用し、他者の多様な考えに触れられるように、児童相互で考えを交流させる場を設定する。 学期に最低3回、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。 	
総合的な学習の時間	<ol style="list-style-type: none"> 探究的な学習の推進 地域参画型学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教科等との関連を図りながら、身に付けるべき資質・能力を明確にして、学習者用端末を有効に活用しながら、探究的な学習活動を計画的に取り組ませる。 キャリア教育（地域振興）の視点に立ち、学童農園事業協力者の協力のもと、農家の仕事を体験する。また、お店番体験を通して地域の方と交流し、学んだことをまとめさせる。 	
外国語活動	<ol style="list-style-type: none"> 学習展開のスタンダード化 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や発音の特徴に慣れ親しむ機会を意図的に設定する。ゲームや状況設定による交流を組み合わせた授業を行う。 	
学級活動	<ol style="list-style-type: none"> 学年（学級）文化の創造 きょうだい学級の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会やクラス遊びなど学級（学年）の文化を創り、継続して取り組む機会を設定する。 月1回の十四小タイムや全校遠足、十四小まつり等で交流する。 	

令和7年度 授業改善推進プラン【4年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標 (短期)	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末を使用する上での基本的な技能・知識の差の考慮。 話型を中心に、対話の方法について定期的な指導。問題解決の技能としての活用。 資料の読み取りのポイントを共有したり、大事な部分に下線を引いたり等の指導。
	学力向上	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律を守って取り組んでいる。 △3年生までの既習事項について、十分に定着させる必要がある。(漢字・ローマ字、引き算・かけ算・図形) △自分の考えをもって書いたり話したりすることに時間を要する。
	学力向上	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用した振り返りの視点の焦点化。 自分や友達の成長が感じ取れる課題解決学習の推進。
健全育成	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○異学年の集団生活や遊びの中で、自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりしている。 ○人権意識をもって他者と関わることができるようになっている。 △授業の中で、体験を通して学ぶ時間を重視していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験のねらいの明確化。活動だけで終わるのではなく、振り返る過程を重視した計画。 人権について考えさせる機会や時間の設定。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	<ol style="list-style-type: none"> 「書く」活動の継続 朝学習(補習)の活用 対話的な学習を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめを、文章にして振り返る活動を取り入れる。 朝学習の時間を活用し、読書や語彙を増やす活動、ローマ字入力などの練習に取り組みさせる。 対話的な学習を行う際に、話型を用いることで考えを表現しやすくする。 	
社会	<ol style="list-style-type: none"> 資料の読み取り(解釈・説明)の習熟 用語を適切に活用した意見の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取りから始まる学習形態を継続し、必要な情報を集める力を身に付けさせる。また、資料を読み取る時間を確保し、読み取ったことを説明するなどの活動を取り入れる。 学習者用端末を使用し、互いの意見を交流しやすくすることで、学びを深められるようにする。 「地図アプリ」を使い、自分が住んでいる場所との位置関係の把握や都道府県の位置を覚えるなどの地図に関する学習を取り入れる。 	
算数	<ol style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の充実 四則計算の習熟 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決する方法や自分の考えを友達と交流するなど、対話を通して、多様な考えに触れ、その中で思考力や表現力を高められるようにする。 教科書の二次元コードを読み込み、補充問題に取り組みさせる。 	
理科	<ol style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の充実 考察をする力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果から自分の考えをまとめ、対話を通して多様な考えに触れ、科学的な思考力・表現力を高められるようにする。 実験結果や観察の記録を残しておく際に、学習者用端末のカメラ機能を活用し、考察する力の向上を図る。 	
音楽	<ol style="list-style-type: none"> 表現活動の工夫 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> リズムや旋律、各声部の特徴を写真や絵、音図形で視覚的に示すことで曲想と音楽の構造との関わりに気付いて表現できるようにする。 曲の速さに合わせて歩いたり、手で拍を取りながら聴いたり、曲を聴いて場面の様子を想像する活動を通して音楽の構造に目を向ける。 	
図工	<ol style="list-style-type: none"> 様々な表現方法や素材の体験 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な表現方法や身近な素材に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 作品を鑑賞し合うことで、他者の作品のよさに気づき、自分の作品の創作に生かす。 	
体育	<ol style="list-style-type: none"> めあて・振り返りを意識した活動 体育的活動による体力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに学習カードを使用し、分かったことなどを記録したり振り返りを行ったりすることで、学びを深めていく。 持久走、なわとび週間など、計画的かつ継続して取り組み、体力の向上を図る。 学習者用端末のカメラ機能を使い、写真や動画を撮影して確認し合う児童を設けることで技能の向上を図る。 	
道徳	<ol style="list-style-type: none"> 話し合い活動や振り返り活動の充実 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成 	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことを話し合う機会を確保したり、「道徳ノート」を継続して活用したりして、振り返りの習慣化を図る。 考えたことを行動に移せるように、あいさつ運動などを推進する。 学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止に関する授業を行う。 	
総合的な学習の時間	<ol style="list-style-type: none"> 探究的な学習の推進 福祉への理解を深める学習 	<ul style="list-style-type: none"> 他の教科等との関連を図りながら、身に付けるべき資質・能力を明確にして、探究的な学習活動に取り組みさせる。 学習の成果などを「スライド」を使って視覚的に分かりやすく発表する機会を設定する。 	
外国語活動	<ol style="list-style-type: none"> 学習展開のスタンダード化 小・中連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のゴールを明確にした授業の展開を行う。 高学年の学習にスムーズに移行できるように、教員間の情報共有を行う。 	
学級活動	<ol style="list-style-type: none"> 話し合い活動の充実 きょうだい学級の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> 司会グループの輪番制、折り合いを付ける集団決定など、児童の自主的、実践的な話し合いのスタイルを身に付けさせる。 全校遠足や十四小まつり等で上学年の自覚をもち、交流する。 アンケートを実施し、様々な学級活動に生かす。 	

令和7年度 授業改善推進プラン【5年】

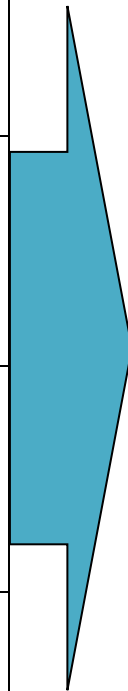
小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標 (短期)	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○交流を通して、自己の課題解決に向かうことを意識している。 △根拠を基に自分の考えを表現する力を付ける。(校内研究)
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○明確なめあてをもって学習している。 △基礎学力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、意欲的に取り組めるような導入の工夫。 ・1単位時間に「何が分かったか」、「どう考えたか」などの観点を示した学習の振り返り。 ・根拠を基に自分の考えを表現する場の設定。
	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを意識して運動に取り組んでいる。 △運動の経験が不足しているため、体力の向上を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不足している運動経験を補うよう多様な動きを取り入れる。 ・一人一人が課題をもって運動に取り組めるような学習カードの活用。
	健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめを許さない意識をもち、行動を見直している。 △集団生活や遊びの中で、自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業を中心に、思いやりをもった態度の育成、実践。 ・児童に課題意識をもたせた自治的活動の推進。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	<ol style="list-style-type: none"> 1 「書く」活動の継続 2 学校図書館の活用 3 効果的な学習端末の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して計画的に書く活動を取り入れる。水曜日と木曜日の朝学習で漢字練習やテストの時間を設定し、漢字の習得・定着を図る。 ・読書の時間を確保したり、調べ学習等を行ったりすることを通して、図書に触れる機会を増やす。 ・プレゼンテーション発表を授業に取り入れる。 	
社会	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料の読み取り（情報収集・整理分析）の充実 2 用語を適切に活用した意見の交流 3 表現の仕方の習熟 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>グラフなどの資料を正確に読み取らせ、読み取ったことを基にして、自分の考えを表現させる。</u> ・友達と考えを交流させることを通して、多様な見方・考え方に気付かせるようにする。 	
算数	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習の充実 2 ノートの取り方や発表の仕方の定着 3 四則計算の習熟 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして解決の見通しをもたせ、<u>児童一人一人が自分の考えをもてるようにする。</u> ・自力解決した方法を式、図や言葉で表し、自分の考えを説明したり、相手の解決方法を読み取ったりする場を設ける。 ・毎週火曜日の朝学習で計算練習の時間を設定し、<u>簡単な四則計算の習得・定着を図る。</u> 	
理科	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習の充実 2 考察をする力の向上 3 観察・実験（器具操作）の習熟 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題・予想・実験・考察・結果の段階を踏まえる。 ・既習事項と関連させたり、友達との対話を通して、多様な考えに触れたりして、<u>科学的に考察をする力の向上を図る。</u> ・安全に配慮しながら、<u>実験器具を正確に扱えるようにする。</u> 	
音楽	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味や、強弱・速度を表す記号に着目しながら表現方法を様々に試す時間を設定し、思いや意図を言葉や音楽で伝え合って表現する。 ・旋律の動きを線で可視化したり、<u>様々な楽器の音色を知って聴き分けたりする活動</u>を通して、曲想の変化と音楽の構造の関わりに目を向ける。 	
図工	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現方法や素材に総合的に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 ・<u>作品を鑑賞し合うことで、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かす。</u> 	
家庭	<ol style="list-style-type: none"> 1 よりよい生活のための実践（生活の見直し・気付き） 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>基礎的なことを確実に身に付けさせ、家庭でも継続して実践できるようにする。</u> 	
体育	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動量の確保 2 全員が運動する楽しさを味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間の学習の流れの提示を行う。 ・一人一人が自分の課題を明確にすることで、<u>運動が苦手な児童も意欲的に取り組めるよう、場や用具、ルールなどを工夫し、運動の楽しさを味わわせる。</u> 	
外国語	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習展開のスタンダード化 2 小・中連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況設定→表現練習→受け答え練習→会話での交流のように、<u>一連の学習展開に見通しをもたせ、主体的に学習できるようにする。</u> ・中学校と同じノートを使い英語に慣れ親しむ活動の導入を行う。 	
道徳	<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳ノートを活用した授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>道徳ノートを活用し、自分の考えを書いたり、振り返りの習慣化を図ったりする。</u> ・学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。 	
総合的な学習の時間	<ol style="list-style-type: none"> 1 探究的な学習の推進 2 地域参画型学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けるべき能力を明確にして、<u>探究的な学習活動を計画的に行う。</u> ・「学習支援ソフト」を活用し、記録・まとめを行い、表現する力を付けさせる。 	
学級活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童の自主的、実践的な活動の充実 2 きょうだい学級の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>折り合いをつける集団決定など、児童の自主的、実践的な活動を継続して行う。</u> ・全校遠足や十四小まつり、十四小タイム等で異学年交流を行う。 	

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題
学校経営目標 (短期)	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実践	<ul style="list-style-type: none"> ○学習者用端末を活用して主体的に課題解決学習に取り組んでいる。 △自分の考えを表現したり、対話を通して考えを再構築したりしていく。
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○国語と算数を中心に基礎学力が徐々に定着してきている。 △自分の考えを表現（発表）することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的に学べるような課題の設定。 ・全ての児童が自分の考えを表現できる指導法の工夫。
	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科の学習では、運動に意欲的に取り組む児童が多い。 △自ら課題を設定し、課題解決に向けて場や動きを工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の時間などを使った、計画的な復習の推進。 ・様々な表現の仕方を授業の中に取り入れていく。
	健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ○異学年交流によって、思いやりの気持ちや責任感などを育てている。 △児童が自らの道徳性を養う中で、これからの課題や目標を見付けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の質を高めていく。 ・一人一人の学習のめあてを確認し、個々の課題に合わせた学習過程の計画と実施。 ・計画的な異学年交流の実施。 ・道徳の学習と日常生活の内容を関連付ける。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	<ol style="list-style-type: none"> 1 「書く」活動の継続 2 学校図書館の活用 3 読書の推進 4 「話す、聞く」活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する際の視点、文章の構成を明確にし、見通しをもって「書く」ことができるようにする。 ・各教科や総合的な学習の時間に図書資料を活用させる。 ・朝読書の時間や読書月間を効果的に活用し、日頃から読書に親しむ環境をつくる。 ・朝学習の時間を活用し、漢字学習や言葉学習に取り組み基礎基本の定着を図る。 ・家庭学習では、音読を学習者用端末で録音し、自分自身の音読を客観的に見ることで、表現力の育成を図る ・交流活動の際には、言語についての視点を明確にする。 	
社会	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料の読み取り（解釈・説明）の習熟 2 用語を適切に活用した意見の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト、グラフなどの資料を正確に読み取らせ、読み取ったことを基にして、自分の考えを表現させる。 ・学習者用端末を活用し、友達と考えを交流することを通して、多様な見方・考え方に気付けるようにする。 	
算数	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習の充実 2 ノートの取り方や発表の仕方 3 習熟度別指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習展開を継続して行う。 ・自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の考えを理解したりする場面を設け、思考力・表現力の向上を図る。 ・習熟が進んでいる児童は既習事項を踏まえて、さらに思考を促すような問題に取り組ませる。 	
理科	<ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習の充実 2 考察する力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題・予想・実験・結果・考察・結論の段階を意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。 ・観察や実験結果から、科学的に考察し、友達との交流を通して、考えを深められるようにする。 	
音楽	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味や、強弱・速度を表す記号に着目しながら表現方法を様々な試す時間を設定し、思いや意図を言葉や音楽で伝え合って表現する。 ・旋律の動きを線で可視化したり、様々な楽器の音色を知って聴き分けたりする活動を通して、曲想の変化と音楽の構造の関わりに目を向ける。 	
図工	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現方法や素材に総合的に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 ・作品を鑑賞し合うことで、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かす。 	
家庭	<ol style="list-style-type: none"> 1 よりよい生活のための実践 (生活の見直し・気付き) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を見直し、改善できるようにする。 ・調理、洗濯などの知識・技能を確実に身に付けさせ、家庭でも継続して実践できるようにする。 	
体育	<ol style="list-style-type: none"> 1 全ての児童が楽しさを味わえる教材の提示 2 体力テストの結果に基づく重点的な指導の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な児童も楽しめるように、ゲームのルールや教具を工夫していく。 ・体づくり運動や十四小トライアルなどの体育的活動の充実を図り、児童が様々な運動に親しめるようにする。 	
外国語	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習展開のスタンダード化 2 小・中連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況設定→表現練習→受け答え練習→会話での交流のように、一連の学習展開を定着させ、主体的に学習できるようにする。 ・帯活動による会話練習や、四線ノートを使い、英語に慣れ親しむ活動の導入を行う。 	
道徳	<ol style="list-style-type: none"> 1 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 2 道徳実践への継続 3 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えに触れられるよう「アンケートフォーム」など学習者用端末を活用する。 ・考えたことを実践できるように、係活動やあいさつ週間などの活動を充実させる。 ・学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止に関する授業を行う。 	
総合的な学習の時間	<ol style="list-style-type: none"> 1 探究的な学習の推進 2 各教科の知識を相互に関連付けた学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム編成時に、他の教科等との関連を図りながら、身に付けるべき能力を明確にして探究的な学習活動を行う。 ・他教科の知識を統合できるように、課題を見付ける場面や解決場面で発問や助言を工夫し、様々な視点で考えさせる。 	
学級活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 学年(学級)文化の創造 2 きょうだい学級の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一役の実行委員会、クラス遊びなどを通じて、学年(学級)の前向きなカラー・文化を創り上げる指導を続ける。 ・全校遠足や十四小まつりなどの行事で他学年との交流を図る。 	